

4月11日

### 高齢者の歩行事故をなくすため 敷島町自治会の各世帯に夜光反射材を配布



敷島町自治会員に夜光反射材を配布

夕暮れ時から夜間にかけて発生する高齢者の歩行事故を防止する目的で行われたものです。各世帯を訪問して夜光反射材を手渡し、着用と交通安全を呼びかけました。

川湯敷島町自治会(横田憲治会長)と弟子屈警察署(佐藤隆幸署長)では4月11日、同自治会員の皆さんに夜光反射材を配布しました。

## カメラスケッチ



このページは皆さんからの情報で作られています。どのような情報でもすぐかけつけます。お気軽にご連絡ください。



まちづくり政策課政策調整係 ☎482-2913(課直通)

4月21日

### 火遊びは絶対にしないでね 川湯防火管理協議会が子どもたちにプレゼント



全道春の火災予防運動期間中の4月21日、川湯防火管理協議会(小泉裕会長)では、川湯小学校1年生に、消火器型の鉛筆削りと、ミニノートのセットを、川湯保育園児には、消防車のお話などの絵本5冊を贈りました。また「ひあそびはしません」と書かれたポケットティッシュも手渡し、火の用心を呼び掛けました。

児童や園児は歓声を上げ「火遊びはしません!」と大きな声で約束しました。

4月24日

### 火の用心を呼びかける 100人が防火徒歩パレード



町内消防関係団体による防火徒歩パレードが4月24日、JR摩周駅前から役場までの区間で行われました。全道春の火災予防運動の一環として毎年行われています。今年は、弟子屈消防署や弟子屈消防団、防火管理協議会、消防後援会、婦人防火クラブ、摩周丘幼稚園幼年消防クラブの皆さん約100人が参加。沿道の皆さんにチラシを手渡しながら「火の用心」を呼びかけました。

町内消防関係団体による防火徒歩パレードが4月24日、JR摩周駅前から役場までの区間で行われました。

拍手を鳴らして火の用心を呼びかけ

4月11日

### 質の良い和牛の安定生産を目指して 摩周和牛改良組合を設立



総会であいさつをする芝田組合長

摩周和牛改良組合(芝田靖明組合長)の設立総会が4月11日、JA摩周湖で開催されました。

1978年から38年にわたり、本町の肉畜経営の安定と複合経営の普及のため活動してきた弟子屈町肉牛振興会が、全国和牛登録協会から「摩周和牛改良組合」として認定されたことを受け、今回、組合として新たなスタートを迎えたものです。同組合では、和牛の安定的生産と産地形成の推進による生産基盤の強化を目指して、本町の和牛発展への貢献が期待されます。

4月23・24日

### 踊りを通して交流深める フォークダンスと日本民謡の道東支部大会



参加者全員で弟子屈音頭を

第50回道東支部フォークダンス・第6回道東支部日本民謡弟子屈大会(日本フォークダンス連盟道東支部主催)が4月23・24の両日、屈斜路プリンスホテルで開催されました。

同支部創立50周年を記念して開催されたもの。道内各地から374人が参加し、世界各国のフォークダンスや日本各地の民謡を踊って交流しました。大会はフォークダンス、民謡、それぞれ別会場で行われましたが、開会式後の合同タイムでは全員で弟子屈音頭を踊り、盛り上がりました。

## 地域の役に立ちたい 社会貢献いろいろ



東星渡部建設(渡部哲夫代表取締役)の皆さんが、5月13日に美留和小学校、5月14日に奥春別小学校、5月23日に川湯中学校のグラウンド整備を行いました。子どもたちのためにと毎年行っているもので、除草や転圧、傾斜の修正などを丁寧に行いました。

また、5月13日には、摩周観光文化センター屋外ステージ前の転圧も行っています。



明盛建設(藤田利道代表取締役)の皆さんが4月21日、弟子屈小学校周辺の町道清掃を行いました。約20人が参加し、土埃などを丁寧に回収しました。また、同校の駐車場清掃と弟子屈高校のグラウンド整備も行いました。

5月9日には、弟子屈高校のテニスコート整備も行っています。



クニオカ工業(今誠代表取締役)と株今道東建設工業(同)の皆さんが5月13日、川湯温泉街を流れる湯川排水路の清掃を行いました。観光客を気持ちよく迎えたいと毎年行っているもので、2社合わせて17人が参加。約500メートルにわたって丁寧に作業を行いました。



開成建設工業(小澤由明代表取締役)の皆さんが4月28日、弟子屈小学校のグラウンド整備を行いました。子どもたちの喜ぶ顔が見たいと毎年行っています。重機を使い丁寧に作業を行いました。



株今道東建設工業(今誠代表取締役)の皆さんが、5月16日、川湯小学校と和琴小学校のグラウンド整備を行いました。子どもたちのためにと毎年行っているもので、7人が参加。除草や転圧、傾斜の修正などを丁寧に行いました。

5月8日

### ふるさとの良さを再認識 春のツアーで名木を観光



須田さんの説明に耳を傾けながら、町が指定した名木を巡るツアーが、5月8日に開催されました。名木は、地域の象徴とされているものや歴史的価値があるもの、景勝上優れているものなどを2006年に指定。ツアーは2007年から春と秋の年2回開催され、春は桜を中心に行われています。今回は根釧西部森林管理署との共催で、町内外から43人が参加。桜の開花にはまだ早かったものの、名木の選考委員長を務めた須田文男さんの説明を聞きながら見学し、名木の見事な姿に見入っていました。

5月7日

### 母の日にちなんだ制作も おはなしはらっぱスペシャル



おはなしはらっぱスペシャルが5月7日、町図書館で開催されました。毎週土曜日に開催されている「絵本の会おはなしはらっぱ」(笹島久美会長)の皆さんによる読み聞かせの拡大版で、毎年開催されています。約15人が参加し、絵本の読み聞かせを楽しんだ後、5月8日の母の日にちなんだカードの制作も行いました。

母の日に贈るカード作りに挑戦

4月24日

### 放水技術の向上ときれいな街並みを目指して 川湯消防団川湯支署が道路で放水訓練



日頃の訓練の成果を発揮して、川湯消防団(濱岡正次団長)と川湯消防支署(村山和也支署長)では4月24日、毎年恒例の放水訓練を行いました。放水訓練は、観光シーズンの到来前に主要な道路を清掃し、美しい町並みを旅行者に楽しんでもらえるようにと行っているものです。消防車の放水で清掃することで、消防職団員の放水技術の向上を図ることも目的となっています。きれいになってゆく町並みを見て、参加者の皆さんは火災予防への意識をより高めていたようでした。

## カメラスケッチ



このページは皆さんからの情報で作られています。どのような情報でもすぐにかかけつけます。お気軽にご連絡ください。



まちづくり政策課政策調整係 ☎482-2913(課直通)

5月11日

### 住み続けたい地域づくりを進めるため 南弟子屈地域活性化協議会の総会とWG



南弟子屈地域活性化協議会(小澤重則会長)の2016年度定期総会と今年度2回目のワーキンググループ(WG)が5月11日、旧昭栄小学校で行われました。同協議会は昨年5月設立。地域の活力とコミュニティーの核だった昭栄小学校の閉校を受け、地域ぐるみでまちづくりを進めようと設立され、2年目を迎えました。総会では昨年度の事業報告と今年度の事業計画などを承認。ワーキンググループでは、昨年度策定した地域の将来ビジョン実現に向けプロジェクトチームを立ち上げることなどを確認しました。

総会であいさつする小澤会長

5月10日

### いざというときに備えて チームくっしやろが防災講座を開催



チームくっしやろ(斎藤敬子代表)主催のくっしやろ講座第5回「周りの自然が教えてくれること」が5月10日、屈斜路研修センターで行われました。同会は屈斜路湖周辺の歴史・文化の収集・発信などを行う地域活動団体。講座は4月に発生した熊本地震を受けて、自然災害などに備えたいと企画されたもので、約20人が参加しました。斎藤代表が過去に町内で発生した大地震や自然災害に関するアイヌ民族の伝説を紹介した後、町防災対策専門官の中村英雄さんが地震発生時の避難や日頃の備えなどについて講演。参加者によるグループワークも行われました。

講演に聴き入る皆さん

4月27日

### 弟子屈生活PRを人口増につなげたい 移住アドバイザーに3人登録



移住促進に向けて意見交換、移住アドバイザー会議が4月27日、役場で行われ、地域おこし協力隊3人も出席しました。会議に先駆け、今年度、移住アドバイザーを担う須藤直武さん、渥美デイトマールさん、萩原寛暢さんに登録証が手渡されました。移住アドバイザーとは、本町への移住を検討されている方に対し、移住後の生活などに関する相談の対応をさせていただく方で、実際に町外から移住してきた方が登録されています。会議では昨年度の移住促進活動の報告と、新年度の事業内容の説明が行われ、アドバイザーの皆さんからは移住促進と人口増加に対するさまざまな意見が出されました。

移住促進に向けて意見交換

4月27日

### 子どもたちの交通安全を祈り続けて39年目 商工会女性部の取り組みに感謝状



弟子屈町商工会女性部(坪井都子部長)の皆さんに4月27日、小林教育長から感謝状が贈られました。同部の皆さんは1978年から毎年、新入学を迎える町内の小学校1年生に「交通安全の鈴」をプレゼントしています。鈴は部員の皆さんの手作りで、完成後には子どもたちの交通安全を願い弟子屈神社でおはらいをしてもらっています。長く続けてきた取り組みに対し今回、感謝状が贈られました。坪井部長は「歴代の部員の皆さんの取り組みの賜物。これからも子どもたちのために続けていきたい」と話していました。

感謝状を受け取る坪井部長

5月22日

### 細川音治さんに学ぶ川湯の自然 川湯エコミュージアムセンターの自然ふれあい行事



川湯エコミュージアムセンター主催の自然ふれあい行事「細川さんと考える活性資源としての郷土の自然」が5月22日に開催され、町内外から25人が参加しました。講師は、摩周・屈斜路パークボランティア連絡会会長などを歴任し、本町の郷土史や自然史を長年研究されている細川音治さん(札幌市在住)。午前中は同センターで、阿寒国立公園川湯地域の魅力や川湯の固有種であるカワユエンレイソウの生態について解説し、午後はフィールドに出てカワユエンレイソウや森の植生観察を行いました。参加者の皆さんは、カワユエンレイソウと他の種との見分け方に耳を傾け、身近にある自然の価値を再確認していたようでした。

カワユエンレイソウを観察

5月20日

### 地域からより多くの自衛官を 自衛官募集相談員に委嘱状を交付



自衛官募集相談員の委嘱状交付式が5月20日、役場で行われました。自衛官募集相談員は、自衛官を希望する方への情報提供など、自衛官募集に関する事務について地域での協力をお願いしている方で、任期は6月1日～2018年5月31日の2年間。徳永町長と小橋史行自衛隊帯広地方協力本部長の連名により委嘱されます。今回委嘱されたのは、山田定雄さん、中村友一さん、奈良道憲さんの3人。今後2年間にわたって、募集広報について活動していただきます。

右から奈良さん、中村さん、山田さん

4月29～5月8日

### 家族でゴールデンウィークの思い出づくり 川湯エコミュージアムセンターで切り絵体験



川湯エコミュージアムセンターで4月29日～5月8日、ゴールデンウィークに家族で楽しむ特別企画「切り絵体験」が行われました。切り絵のデザインは、阿寒国立公園川湯地域が誇る「摩周湖」「硫黄山」「屈斜路湖」や野鳥など計6種類。絵に合った色画用紙を型通りに切り、ポストカードに貼りつけていきます。親子や兄弟姉妹で協力して1枚を作り上げたり、それぞれ違う切り絵を作って披露し合うなど、楽しそうな姿が見られました。アレンジを加え、オリジナルデザインを完成させる方もいて、思い出づくりとして好評でした。

好みのデザインを選んで

4月28日

### 警察官の仕事体験 弟子屈小学校4年生が弟子屈警察署を見学



弟子屈小学校(佐野哲哉校長)4年生が4月28日、弟子屈警察署(佐藤隆幸署長)を訪れ、仕事の見学や体験を行いました。社会科の授業の一環で、地域の暮らしを守る機関や人について調べることが目的です。児童は手信号による交通整理や指紋の採取、対刃防護服の着用などを体験。さすまたを使っての不審者役の取り押さえや、パトカー乗車では歓声も上がり「楽しかった」などの声も聞かれました。児童は今後、町歩きも行き、地域の安全マップを作製する予定です。

慎重に自分の指紋を採取する児童